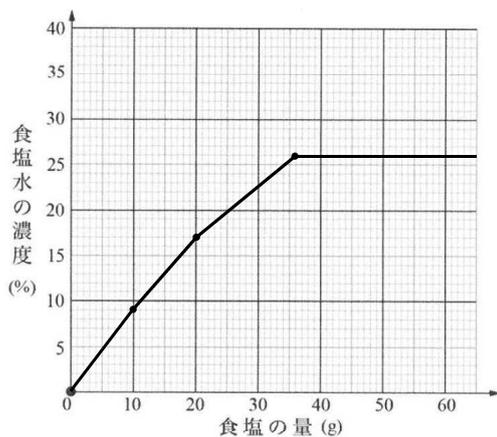
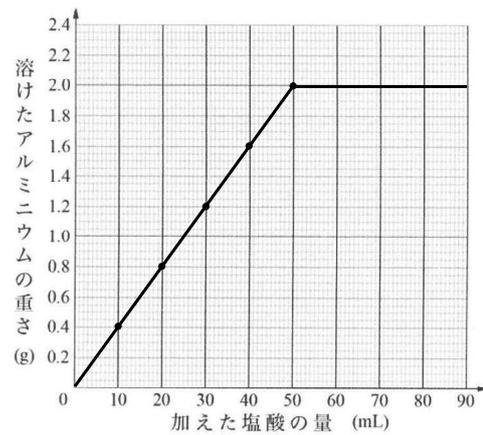


解答

- ① 問1 ウ, エ 問2 ア, エ 問3 (1) B (2) ア, エ, キ
 問4 (1) 溶岩から火山ガスがぬけ出した穴がかたまってできた。
 (2) 溶岩と違い、穴があることで見かけの体積が増え、全体の密度が水より小さくなったから。
 (3) 福徳岡ノ場から沖縄本島、沖縄本島から房総半島へと向かう風や海流があった。
- ② 問1 固体が見えなくなったとき。
 問2 残った固体が元の物質とはちがう点。
 問3 (1) 53
 (2) 図①
 問4 図②
 問5 A オ B エ
- ③ 問1 筒 たてにまっすぐに、レールのようなすじが2本、円筒側面の向かい合った位置にある。
 台 筒にあったレールのようなすじと合わさる形のみぞが、外周に2本ある。円筒形の中央をたてに貫通するあながあいており、あなの内側にはめねじのみぞがある。
 回転軸 中央の軸におねじのみぞがあり、台の中央のあなにあるめねじのみぞと合わさるようになっている。中央の軸は、根元の部分を持って回すことができる。
- 問2 回転軸の根元の部分を回すと、軸も回転する。回転軸のおねじと、台の中央のあなにあるめねじがかみ合っているため、台が上下する。このとき、筒についたレールのようなすじと、台についたみぞがかみ合うため、台は回転せず平行に動いていく。



(図①)



(図②)

上記の解答は、弊社が作成致しました。